

一液反応硬化形ウレタン変性樹脂塗料(弱溶剤形)

Vトッパー液スマイルUNI

施工上の注意

【塗装に適さない用途】

- ① 下記のような現象が起こる場合がありますので、塗装しないで下さい。
- ① シャッター・歩行部などへの塗装は「ブロッキング」する恐れがありますので避けて下さい。
- ② ドアパッキン・プラスチック・発泡スチロールなどの可塑剤を含むものと接触すると軟化したり、付着によるはく離を起こす恐れがありますので避けて下さい。
- ③ ショーケース(陳列棚)・カウンター・ファニチャー(家具)などの上にモノを置く場合や床面への塗装は、『塗膜の粘着や色移り』を起こす恐れがありますので避けて下さい。
- ④ 耐溶剤性、耐油性などを必要とする施設や設備への塗装は避けて下さい。

【素地調整に関する注意】

- ① モルタルの養生は十分に行なってください。原則として3週間以上が適当です。含水率10%以下、pH10以下で塗装して下さい。
- ② 旧塗膜の浮きや有害な付着物は、高圧洗浄機やワイヤブラシ、皮スキ、ケレン棒などで完全に除去してから塗装して下さい。処理が不十分な状態の塗装は、塗膜のはく離、つやの低下などの原因となります。(判定方法:乾燥後ガムテープを貼り付け、強く引っ張って剥がし、素地が剥がれないことを確認して下さい。)
- ③ チョーキング面は、高圧洗浄機(15MPa[150kg/cm²]以上)で入念に洗浄し、劣化塗膜や粉化物を除去して下さい。
- ④ 水洗い後は、1日以上乾燥させて下さい。また素材表面が雨、露などで濡れている場合は、十分に乾燥させてから塗装して下さい。乾燥が不十分な状態での塗装は、はく離、ふくれ、割れ、つやの低下などの原因となります。
- ⑤ 錆の発生部ではワイヤブラシ、サンドペーパーなどで入念に除去を行ない、十分なケレンをして下さい。
- ⑥ こみ、埃、砂、油、ワックスなどが付着している場合は、ハジキや付着不良の原因となりますので、完全に除去して下さい。
- ⑦ 旧塗膜に発生したかび、藻などは必ず除去し、清浄な面として下さい。
- ⑧ 塗り替え工事の際、下地の浮きは事前に樹脂の注入を行なって下さい。

【塗装に関する注意】

- ① 結露しやすい地域や季節には塗装時間に注意し、早めに塗装を終えて十分な乾燥時間を確保して下さい。
- ② 屋外での塗装の際は天候を確認し、降雨、降雪のおそれがある場合および強風時は塗装しないで下さい。
- ③ 本製品は建築塗料です。本来の用途以外に使用しないで下さい。
- ④ 飛散防止のため、必ず養生をして下さい。
- ⑤ 塗装後約24時間以内に乾燥不十分な状態で、降雨、結露が起こるおそれがある場合、または高湿度、低温になる場合、通風のない場合には、はく離、ふくれ、割れ、白化、シミ等が発生するおそれがありますので、塗装をしないで下さい。
- ⑥ 冬期など乾燥が遅れる環境では、「塗料用シンナーA」又は「エナメルシンナー#220」を使用して下さい。
- ⑦ 塗装場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上で結露のおそれがある場所、また換気の悪い場所では塗装しないで下さい。

- ⑧ 塗料は電動ミキサーを使用して十分に攪拌し、内容を均一にして塗装して下さい。
- ⑨ 金属面で素地の露出がある部分については、下塗りの補修塗装を行なって下さい。
- ⑩ 下塗材には必ず指定の材料を使用して下さい。
- ⑪ 旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響で、塗膜が侵され、ふくれや縮みなどの異常が発生する場合があります。必ず旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご検討下さい。
- ⑫ 直接、鉛丹ペイント、鉛丹シンクロペイント、塩化ゴム系塗料の上には塗装できません。
- ⑬ 十分な塗膜性能を確保するため、標準使用量を守って塗装して下さい。
- ⑭ 吸い込みの激しい素材の場合は、下塗り工程を2回行なって下さい。
- ⑮ 下地の1mm以上のクラックは、Uカット後シーリング材を充填し、表面をセメントフィラーで処理して下さい。1mm以下のクラックは、「DNT弾性フィラー液テクトMAX」を刷毛、又は中毛ローラーで塗布して下さい。
- ⑯ 色の異なる上塗りを2回塗り、又は塗り重ねる場合(ライン書き、オーバーラップ)、1層目の塗膜の色が2層目にブリードする恐れがありますので、ご注意ください。
- ⑰ たれ、塗り残しがないように均一に塗装して下さい。
- ⑱ 施工中は塗料が容器からこぼれないよう注意して下さい。万が一こぼれた場合は、速やかに布かウエスでよく拭き取るか、砂などを散布した後処理を行なって下さい。
- ⑲ スプレー塗装の場合は、ミストの汚染防止に十分ご注意ください。
- ⑳ 容器は基本的につり上げないで下さい。止むを得ずつり上げる場合は、安全性が確保された適切なつり器具で垂直につり上げ、落下には十分注意して下さい。(偏荷重になると容器の部品が外れ、落下事故につながる危険性があります。)
- ㉑ 汚れや傷などで補修塗装が必要になる場合がありますので、使用塗料と塗装方法の控えを必ずとり、同一塗料、同一方法で補修塗装をして下さい。
- ㉒ 塗装中及び乾燥中は、揮発した溶剤成分や蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ㉓ 濃彩色の場合、塗面を強く擦ると色落ちする事がありますので、ご注意ください。
- ㉔ ローラー、刷毛などの用具は、他の塗料での塗装に使用するとハジキなどの原因になるおそれがありますので、塗装終了後速やかに洗うか、専用でお使い下さい。固着した用具を洗う場合は、ラッカーシンナーで洗浄して下さい。
- ㉕ 同品で重ね塗りを行う際に、1回目の塗料を溶かして仕上がりに不良になる事がありますので、ご注意ください。

【保存・保管に関する注意】

- ① 塗料は開封後、一度に使いきるようにして下さい。止むを得ず保存し直す場合には、厳重に密閉した後、冷暗所で保管し、速やかに使い切して下さい。
 - ② 屋外での塗料の貯蔵はしないで下さい。また、直射日光が当たらない場所で貯蔵して下さい。
 - ③ 適切な保存方法では引火の心配はありませんが、極端な高温(50℃以上)の環境での保管は避けて下さい。
- 【製品の情報について】
- ① 安全衛生、法規についての情報が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。
 - ② 規格表示、膜厚、乾燥時間、塗装間隔などの製品情報が必要な場合には、単品説明書をご参照下さい。

使用上の注意

吸入したり皮ふにふれたりすると中毒やかぶれを起こす恐れがありますから、取扱いは下記の注意事項を守って下さい。
※詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

●取扱い上の注意

- 火気のない局所排気装置を設けたところで使用して下さい。
- 塗装中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸込まないようにして下さい。
- 取扱い中は、皮ふにふれないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。
有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋等。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行なって下さい。
- 塗料の付いたウエスや塗料カス、スプレーダストは廃棄するまで水につけておいて下さい。
- よくフタをし、40℃以下の一定の場所に貯蔵して下さい。
- 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
- 本来の用途以外に使用しないで下さい。
- 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

●緊急時の処置

- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
- 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 皮ふに付着した時には、多量の水で洗い落とし、痛みや皮ふに変化等がある場合には、医師の診察を受けて下さい。
- 蒸気、ガス等を吸込んで気分が悪くなった時には、安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- 容器からこぼれた時には、布で拭きとり、その布を水の入った容器に保管して下さい。

※本カタログに記載以外の条件で使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。
※本製品の内容は予告なく変更することがあります。
※本カタログに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。

DNT 大日本塗料株式会社

●東日本販売部

- 東京営業所 ☎03-5710-4501 ☎144-0052 東京都大田区蒲田5-13-23(TOKYU REIT 蒲田ビル)
- 札幌営業所 ☎011-822-1661 ☎003-0012 札幌市白石区中央二条1-5-1
- 仙台営業所 ☎022-288-8866 ☎984-0011 仙台市若林区六丁の目西町8-1(富喜センタービル)
- 北関東営業所 ☎0480-26-5111 ☎346-0003 埼玉県久喜市久喜中央1-5-18(辻屋ビル)
- 新潟営業所 ☎025-244-7890 ☎950-0912 新潟市中央区南笹口1-1-54(日南笹口ビル)
- 千葉営業所 ☎043-225-1721 ☎260-0015 千葉市中央区富士見2-7-5(富士見ハynesビル)
- 神奈川営業所 ☎042-786-1831 ☎252-0233 神奈川県横浜市中央区臨海台1-7-7(トラス・テック相模原ビル)
- 静岡営業所 ☎054-254-5341 ☎420-0857 静岡市葵区御幸町8(静岡三菱ビル)

塗料相談室 フリーコール 0120-98-1716 <https://www.dnt.co.jp/>

●西日本販売部

- 大阪営業所 ☎06-6266-3116 ☎542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11(SRビル長堀)
- 名古屋営業所 ☎052-332-1701 ☎460-0022 名古屋市中区金山1-12-14(金山総合ビル)
- 富山営業所 ☎076-444-5260 ☎930-0005 富山市新桜町6-15(Toyama Sakuraビル)
- 京滋営業所 ☎075-595-7761 ☎607-8085 京都市山科区竹鼻堂ノ前町46-1(京都山科ビル)
- 姫路出張所 ☎079-226-5727 ☎670-0965 兵庫県姫路市東延未一丁目1番地(姫路NKビル)
- 岡山営業所 ☎086-214-1852 ☎700-0034 岡山市北区高柳東町10-30
- 広島営業所 ☎082-286-2811 ☎732-0802 広島市南区大州3-4-1
- 高松営業所 ☎087-869-2585 ☎761-8075 高松市多肥下町1511-1(サンフラワー通り東ビル)
- 福岡営業所 ☎092-938-8222 ☎811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5

一液反応硬化形ウレタン変性樹脂塗料(弱溶剤形)

Vトッパー液スマイルUNI



F☆☆☆☆

「やさしく」「美しく」建物を護ります。

弱溶剤

一液タイプ

速乾性

微弾性

厚塗り

防かび・防藻性

ノンリフティング

レベリング性

大日本塗料株式会社

一液反応硬化形ウレタン変性樹脂塗料(弱溶剤形) ユニ Vトッパー液スマイルUNI

用途

建築内外壁及び鉄部

◆適用素材

コンクリート・モルタル・スレート・PC版・ボード・鉄・硬質塩ビなど

◆塗装可能な旧塗膜

エマルジョン塗料・アクリル樹脂エナメル・
合成樹脂調合ペイント・リシン・吹付タイルなど

※上記以外の用途に使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。

容量

15kg・4kg

色・光沢

◆色 : 白・各色

◆光沢 : つや有り・7分つや・5分つや・3分つや

塗料性状

項目	内容			
展色剤	一液反応硬化形ウレタン変性樹脂塗料(弱溶剤形)			
顔料	着色顔料			
荷姿	一液性			
色相	白、各色			
密度(23℃)	塗料	0.90~1.20		
	揮発分	0.80		
粘度(23℃)	75~100KU			
加熱残分	57~63%(白)			
乾燥時間	温度	5℃	20℃	30℃
	指触	60分	20分	15分
	半硬化	2時間	40分	30分
標準膜厚	30μm/回			
引火点	SDS参照			
発火点	SDS参照			
爆発限界(下限~上限)	SDS参照			

塗装基準

項目	内容			
塗装方法	刷毛、ローラー、スプレー			
希釈剤	塗料用シンナー			
塗装法	塗装方法	刷毛、ローラー	エアレス※1	
	希釈率	0~10%	10~20%	
	標準使用量※2	0.12kg/m ² /回	0.14kg/m ² /回	
	標準膜厚	30μm/回		
乾燥時間	ウエット管理膜厚	100μm/回		
	温度	5℃	20℃	30℃
	最小	30時間	16時間	12時間
	最大	1ヶ月以内	1ヶ月以内	1ヶ月以内

※1.エアースプレーの場合は、エアレス希釈率よりも5~10%増やして下さい。
 ※2.凹凸面の標準使用量は0.15~0.20kg/m²/回です。
 ※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための条件の代表値を記載したものです。
 記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

関連法規

項目	内容
危険物表示	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第3種有機溶剤含有物
有機物質表示	SDS参照
劇物表示	—

標準塗装仕様

1. コンクリート・モルタル面の平滑仕上げ

工程	商品名	塗回数	塗装方法	希釈剤	希釈率(%)	標準使用量(kg/m ² /回)	塗装間隔(20℃)
素地調整	有害な付着物や劣化塗膜を除去し、被塗面を清浄にする。下地の水分は10%以下、pH10以下で施工する。						
下塗り	マイティー 一液エポシーラー	1	刷毛・ローラー	—	無希釈	0.10	3時間以上
	又は		スプレー			0.20	7日以内
上塗り	マイティー 万能エポシーラー 白※1	1	刷毛・ローラー	塗料用シンナー又は 塗料用シンナーA	5~10	0.10	4時間以上※2
	又は		スプレー			0.12	7日以内
上塗り	Vトッパー液スマイルUNI	2	刷毛・ローラー	塗料用シンナー	0~10	0.12	16時間以上
			スプレー			0.14	1ヶ月以内

※1.マイティー万能エポシーラー白の混合割合(重量比)は、主剤:硬化剤=90:10です。他は全て一液形です。
 ※2.壁面の塗り重ね最小時間です。屋根面の場合の歩行可能な最小時間は16時間です。
 ※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための条件の代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

2. コンクリート・モルタル面の既存模様を生かした仕上げ

工程	商品名	塗回数	塗装方法	希釈剤	希釈率(%)	標準使用量(kg/m ² /回)	塗装間隔(20℃)	
素地調整	有害な付着物や劣化塗膜を除去し、被塗面を清浄にする。下地の水分は10%以下、pH10以下で施工する。							
下塗り	マイティー 一液エポシーラー	1	刷毛・ローラー	—	無希釈	0.10	3時間以上	
	又は		スプレー			0.20	7日以内	
	マイティー 万能エポシーラー 白※1	1	刷毛・ローラー	塗料用シンナー又は 塗料用シンナーA	5~10	0.10	4時間以上※2	
	又は		スプレー			0.12	7日以内	
上塗り	DNT弾性フィラー 一液テクトMAX※3	1	ウーローラー	水道水	5~10	0.30~0.50	8時間以上	
			多孔質ローラー			1~3	0.80~1.50	7日以内
			リシガン			3~6	0.70~1.20	
上塗り	Vトッパー液スマイルUNI	2	刷毛・ローラー	塗料用シンナー	0~10	0.15	16時間以上	
			スプレー			0.20	1ヶ月以内	

※1.マイティー万能エポシーラー白の混合割合(重量比)は、主剤:硬化剤=90:10です。他は全て一液形です。
 ※2.壁面の塗り重ね最小時間です。屋根面の場合の歩行可能な最小時間は16時間です。
 ※3.新設塗装の場合、DNT弾性フィラー一液テクトMAXの前にマイティー一液エポシーラーもしくは水性マイティーシーラーマルチを塗装して下さい。
 ※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための条件の代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

3. コンクリート・モルタル面の吹付けタイル模様仕上げ

工程	商品名	塗回数	塗装方法	希釈剤	希釈率(%)	標準使用量(kg/m ² /回)	塗装間隔(20℃)
素地調整	有害な付着物や劣化塗膜を除去し、被塗面を清浄にする。下地の水分は10%以下、pH10以下で施工する。						
下塗り	水性マイティーシーラー マルチ	1	刷毛・ローラー	—	無希釈	0.11	2時間以上
			スプレー			0.13	1ヶ月以内
模様吹き※4	DNTタイルアクリルベース(K)	1	タイルガン	水道水	0~2	0.80~1.50	24時間以上 1ヶ月以内
上塗り	Vトッパー液スマイルUNI	2	刷毛・ローラー	塗料用シンナー	0~10	0.15	16時間以上
			スプレー			0.20	1ヶ月以内

※4.公共工事の場合は、模様吹き(主材模様)の前に基層吹き(主材基層)が入ります。標準使用量(所要量)なども変わりますのでご注意ください。
 ()は公共建築工事標準仕様書の表記です。
 ※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための条件の代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

4. 鉄部

工程	商品名	塗回数	塗装方法	希釈剤	希釈率(%)	標準使用量(kg/m ² /回)	塗装間隔(20℃)
素地調整	ワイヤブラシ・サンドペーパーなどで、さび・劣化塗膜・その他の有害な付着物を除去し、全面目粗しする。						
下塗り	ワンツーエポ	1	刷毛・ローラー	塗料用シンナー A	5~10	0.13	2時間以上
			スプレー			5~15	0.17
上塗り	Vトッパー液スマイルUNI	2	刷毛・ローラー	塗料用シンナー	0~10	0.12	16時間以上
			スプレー			10~20	0.14

※上記に記載されていない部材については、弊社までお問い合わせ下さい。
 ※数字はすべて標準値です。被塗物の形状、種類、下地の状態によっては大きく変わる場合があります。また、仕上がりの光沢によっても、多少増減することがあります。
 (特に旧塗膜が粗面の場合は、使用量が大幅に増える場合がありますので、予め試し塗りなどで確かめて下さい。)
 ※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための条件の代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。